

ICT 活用授業報告 山形大学附属中学校 2 年 英語科

新出の言語材料を含んだ英文の概要を捉える



日 時：令和 5 年 10 月 10 日（火）8：50～9：40

場 所：2 年 1 組教室

対 象：2 年 1 組 生徒 33 名

授業者：水田 怜樹 教諭

1 主に活用した機器・コンテンツ

- ・ 1 人 1 台 端末（Chromebook）
- ・ 学習者用デジタル教科書（開隆堂 SUNSHINE 2）
- ・ 大型提示装置
- ・ 指導者用デジタル教科書（開隆堂 SUNSHINE 2）

2 授業

（1）本時の目標

新出文法（「疑問詞＋to 不定詞」、「look, get/become＋形容詞（名詞）」、「SV00 の文型」）が含まれている日常的な話題についての英文を読み、その概要を捉えることができる。

（2）ICT を活用した指導過程

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器等	情報活用能力※2
導入 15 分 一斉 A I 個別 B I	●新出文法を含んだ 6 コマ漫画を読んで、新出文法の意味や働きに気付く。	○大型提示装置で、対話の実際の場面を視聴し、その内容について想像する。 ○学習者用デジタル教科書を用いて、生徒一人一人が立てた目標に合った音読練習に取り組む。 ○ICT 活用ポイント 1 生徒一人一人が、自分の目標に合わせた音読練習を行うことができるよう、学習者用デジタル教科書のマスキング機能等を活用する。	・ 1 人 1 台 端末（Chromebook） ・ 学習者用デジタル教科書 ・ 大型提示装置 ・ 指導者用デジタル教科書 	A 2②a ステップ 4 条件を踏まえて情報及び情報技術の活用計画を立てる手順
展開① 15 分 一斉 A I 個別 B I	●新出文法を含んだ短い対話の内容を聞いたり、聞いた英文を書き取ったりして、新出文法の意味や働きを理解する。	○教室全体で教科書の聞き取り問題や、聞いた英文を書く活動に取り組む。 ○学習者用デジタル教科書を用いて、繰り返し英文を聞いて内容を確認したり、聞き逃した表現を再度確認したりする。 ○ICT 活用ポイント 2 生徒が自分の課題に応じて、粘り強く学習に取り組むことができるよう、学習者用デジタル教科書を用いて、英文を繰り返し聞いたり、文字で確認したりする場面を設定する。	・ 1 人 1 台 端末（Chromebook） ・ 学習者用デジタル教科書 ・ 大型提示装置 ・ 指導者用デジタル教科書 	A 2②a ステップ 4 条件を踏まえて情報及び情報技術の活用計画を立てる手順
展開② 15 分	●新出文法を含んだ教科書本文の対話文を読み、	新出文法（「疑問詞＋to 不定詞」、「look, get/become＋形容詞（名詞）」、「SV00 の文型」）が含まれているまとまりのある英文を読み、一語一語や一文一文の意味など特定の		

	その概要を読み取る。	部分にのみとられたりすることなく、全体としてどのような話になっているかを、会話の流れに合う適切な英語を考え、表現する活動を通して捉えることができる。		
まとめ 5分	●本時で学んだことを振り返る。	言語面、内容面、学び方など、多様な面から本時の内容を自己評価し、自分の言葉で書いてまとめる。		

※1 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例（IE-School）における指導計画を基にステップ別に整理したもの】」（令和元年度版）全体版」に基づく表記を示す。

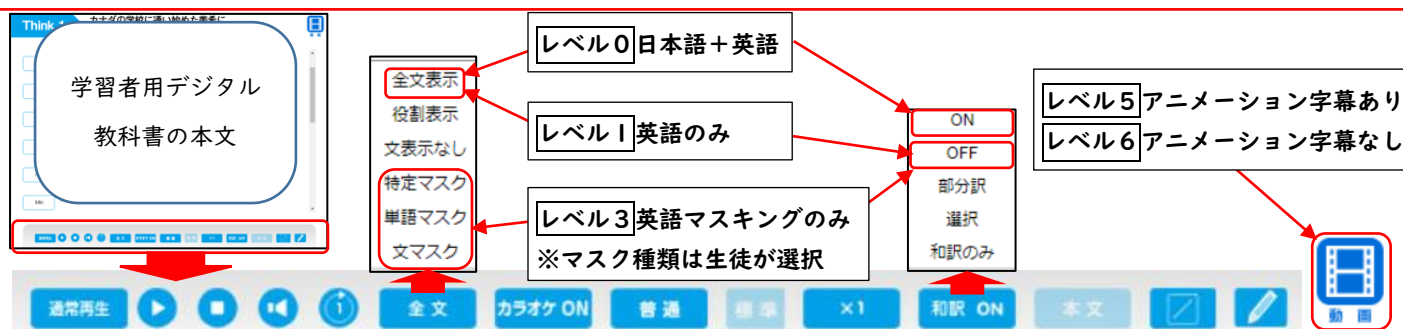
3 ICT 活用ポイント

ICT 活用ポイント 1 B I 個に応じた学習

1人1台端末内にインストールされた学習者用デジタル教科書を活用して、生徒一人一人が自分の音読の目標に合わせた音読練習を行うことができるよう、学習者用デジタル教科書のマスキング機能等を活用する。

(1) 教室全体で一斉型の音読練習に取り組む。 (2) 指導者があらかじめ設定し、生徒とともに修正しながら日常的に用いられている音読練習のレベルの中で、生徒自身がどのレベルで音読練習に取り組むのかを決める。その際、その場面において目指すべきレベルを、指導者はあらかじめ生徒に提示しておく。 (3) 生徒は学習者用デジタル教科書を活用して、個別に音読練習を行う。その際、生徒は学習者用デジタル教科書の機能を活用し、個々の目指すレベルに応じて、語句や表現等をマスキングしたり日本語のみを表示したりしながら音読練習に取り組む。 (4) 教室全体で再度確認の音読練習を行う。	個々の目指すレベル設定例 <table> <tr> <td>レベル0</td><td>日本語＋英語</td></tr> <tr> <td>レベル1</td><td>英語のみ</td></tr> <tr> <td>レベル2</td><td>日本語＋英語マスキング (マスキングする単語は自由)</td></tr> <tr> <td>レベル3</td><td>英語マスキングのみ</td></tr> <tr> <td>レベル4</td><td>日本語のみ</td></tr> <tr> <td>レベル5</td><td>アニメーション字幕あり</td></tr> <tr> <td>レベル6</td><td>アニメーション字幕なし</td></tr> <tr> <td>レベル7</td><td>英語を見聞きしながら 同時通訳（日本語で）</td></tr> </table> ※生徒の実態に合わせて設定	レベル0	日本語＋英語	レベル1	英語のみ	レベル2	日本語＋英語マスキング (マスキングする単語は自由)	レベル3	英語マスキングのみ	レベル4	日本語のみ	レベル5	アニメーション字幕あり	レベル6	アニメーション字幕なし	レベル7	英語を見聞きしながら 同時通訳（日本語で）
レベル0	日本語＋英語																
レベル1	英語のみ																
レベル2	日本語＋英語マスキング (マスキングする単語は自由)																
レベル3	英語マスキングのみ																
レベル4	日本語のみ																
レベル5	アニメーション字幕あり																
レベル6	アニメーション字幕なし																
レベル7	英語を見聞きしながら 同時通訳（日本語で）																

目指すべきレベルの設定例と機能の対応 ※一部のレベル紹介。組み合わせ次第で様々なレベルが設定できる。



ICT 活用ポイント 2 B I 個に応じた学習

学習者用デジタル教科書を活用して、生徒が自分の課題に応じて粘り強く学習に取り組むことができるよう、学習者用デジタル教科書を用いて、英文を繰り返し聞いたり文字で確認したりする場面を設定する。

- (1) 教室全体で一斉に聞き取りや書き取りの活動に取り組む。
- (2) 学習者用デジタル教科書を活用して、聞き取ったり書き取ったりした内容を個別に確認する。また、よく聞き取れなかった内容や、書き取れなかった単語や表現等を確認したりするために、その部分に焦点化して繰り返し英文を聞いたり読んだりする。
- (3) 教室全体で、聞き取った内容や書き取った英文の構成を確認する。

